



す や ま

東京都議会議員【八王子選出】

# 須山たかし

1980年11月6日生まれ。桐朋高校、早稲田大学社会科学部卒。大隈塾・高野孟ゼミ1期生。特許事務所、連舫参議院議員秘書、府中市議会副議長等を経て、現職。東京都議会 環境・建設委員会副委員長。東京都議会立憲民主党多様性PT座長。

## 2022年度決算審査



東京都の2022年度決算委員会が立ち上がり、須山も委員として質疑、会派の意見開陳を行いました。

須山の主な質疑は以下の通りです。

### ○子供政策連携室関連

**Q.令和4年度「育休」の愛称に「育業」と付けた。この名前自体は正直、私とはセンスが違うかなと思うが、目指す目的としては大いに期待している。取り組みと成果は？**

**A.**「育業」の理念を普及させるため、昨年度、企業と連携した育業応援プロジェクトを実施。育業をテーマとした川柳コンクールや育児情報誌と連携し、育業体験談の漫画化などを行った。

### ○総務局関連

**Q.東京都パートナーシップ宣誓制度の実績は？**

**A.**令和5年10月16日時点で951組の方に交付

意見。選択的夫婦別姓など様々な課題がある。事実婚にも対応した制度を導入する自治体もある中、都としても課題解決をはかってほしい。

### ○主税局関連

**Q.ふるさと納税は苛烈な返礼品競争だけでなく、都内では1,446億円もの減収。見直すべきでは？**

**A.**「ふるさと納税」について、寄附本来の趣旨等を踏まえた見直しを行うよう、引き続き国に要求する。

## 神宮外苑の文化を守る議連が発足



『神宮外苑再開発をとめ、自然と歴史・文化を守る東京都議会議員連盟』が発足しました。

10月5日に立憲民主党、共産党、ミライ会議、諸派の都議会議員40名による議連が発足し、須山は副会長を拝命いたしました。

有識者による国際記念物遺跡会議・イコモスが計画撤回等を求めた緊急要請、ヘリテージ・アラートを都や事業者に出しました。

10月10日までの回答期限に関わらず、東京都や事業者からはヘリテージ・アラートへの回答はありませんでした。

10月20日には都議会立憲民主党として神宮外苑の現場を視察し、日本イコモスの石川幹子教授からご説明を受けました。

10月31日には国会議員による「神宮外苑の自然と歴史・文化を守る国会議員連盟」の皆さんと勉強会並びに懇談会を行い、意見交換をさせていただきました。

今後も議連として東京都の文化や自然を守るために活動を続けて参ります。皆さんからのご意見をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。



10月20日の神宮外苑視察の様子。

この美しい自然を守る決意を改めていたしました。

情報コミュニケーション条例WT



2022年に都議会全会派で議論を進め、成立した「手話言語条例」。

これを更に実効性のあるものにし、全ての人の情報保障を進めるために情報コミュニケーション条例のワーキングチーム(WT)を立ち上げ、議論を進めております。

須山も東京都議会立憲民主党を代表してWTのメンバーとして議論に参加しております。

現在、有識者の皆さんからのヒアリングを行い、東京都としてどのような条例が求められているか、より実効性のある条例にするためにはどうすれば良いか、諸派も含めた全会派で一丸となり議論を進めております。

皆様からのご意見・ご要望をお寄せ下さいますよう、よろしく願いたします。

○9月12日

講師：群馬大学共同教育学部教授  
金澤貴之氏

内容：情報コミュニケーション条例の本質的理解

○10月13日

講師：NPO法人インフォメーション  
ギャップバスター理事長 伊藤芳浩氏

内容：情報コミュニケーション条例に期待すること

○11月13日

講師：広島大学副理事（キャンパス  
国際化担当）

ダイバーシティ&インクルージョン  
推進機構特別支援教育実践センター  
長 川合紀宗氏

内容：特別支援教育の今とこれから



「都議会立憲 東京ビジョン 2024 ver.1.2」



都議会立憲民主党役員と中村副知事

東京都議会立憲民主党として「都議会立憲 東京ビジョン 2024 ver.1.2」を副知事に手渡し、意見交換を行いました。

西沢けいた幹事長より「都議会議員の任期折り返しで、重点をまとめた。実現を求める」旨を伝えました。

須山からは政調会副会長として「これまで代表質問等で求めてきた重要な課題、早急に実現を」と求め、ビジョンの詳細を説明しました。

都議会立憲 東京ビジョン 2024 ver.1.2

～最重点項目 3×2+3

○予算×3

- ・子育て支援に関する所得制限撤廃  
乳幼児・子ども医療費助成、児童育成手当、受験生チャレンジ支援、私立学校の特別奨学金などなど、たくさんの所得制限の撤廃を求めます。
- ・給食無償化・学校教育の無償化  
教育は未来そのもの。本来無償であるべきです。東京都議会立憲民主党は、特別支援学校を含む学校給食の無償化、学校教育にかかるさまざまな費用の無償化を求めます。
- ・充実の家賃補助で住まいの安心確保  
住まいの確保はもっともベーシックな生活保障です。都営住宅は平均約10~50倍、一方都内の空き家は81万戸です。必要とする全ての人への家賃補助制度を求めます。

○条例×3

- ・カスハラ対策条例～働く人の尊厳を守り、カスハラを許さない東京を  
暴言や脅し、不当な要求はカスハラです。カスハラは、働く人の尊厳を傷つける人権侵害です。東京からカスハラを許さない社会を実現するため、早期の条例制定を求めます。
- ・ケアラー支援条例～ケアする人に優しい社会へ  
こころや身体の不調など、ケアが必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアするケアラー、特にヤングケアラーに気づき・支える体制をつくる条例を求めます。
- ・東京都版選択的夫婦別姓・事実婚～都パートナーシップ条例改正  
いろんな家族の形・パートナーシップを認め・支える社会を東京から。性別を問わず利用できるパートナーシップ制度を求めます。

○+重要トピック3

- ・外苑問題～再開発事業の見直しが必要  
100年の樹木を守り育てる、都民理解が得られる計画へ。都民・事業者の知恵を結集して、外苑の杜を未来に遺す努力を続けることを求めます。
- ・2025デフリンピック大会～手話言語、情報コミュニケーション保障  
手話言語、デジタル技術を使った情報コミュニケーション保障の実現、街中の音声情報の視覚化。聞こえない人に情報保障する街へと変革し、未来に遺す大会を求めます。
- ・コロナ検証～未来への伝言。次なる感染症の脅威に万全の備えを  
検証なくして対策なし。コロナ禍の教訓、もう繰り返してはならない初動の遅れ、失われた命や損なわれた健康など、しっかり検証し、記録を後世に遺すよう求めます。

東京都議会議員 須山たかし事務所

〒192-0046

東京都八王子市明神町3-10-6

イサムビル303

☎️ suyamaoffice1980@gmail.com

須山たかしで検索



都政へのご意見・ご要望を

お待ちしております。

右記QRコードからLINEで

お寄せください▶▶

